

特集 中四国輸入車



販売現場から厳しい声

新規登録は好調だが… 止まらぬ車両価格高騰

新規登録台数が前年超えを続け好調に推移する輸入車市場だが、販売現場からは厳しい声が相次ぐ。長引く為替の円安で車両の販売価格の引き上げが相次ぎ、さまざまな販売手法を駆使して顧客に買いやすさを訴求するが、所得水準が高い層が多いとされる輸入車の顧客であっても購入を踏みとどまる状況が続く。昨今、輸入車の新規登録台数を底上げしているのは日本メーカーの海外生産車だ。生産のグローバル化にともない、海外の工場で生産した車両を輸入して販売するケースが増えているため、いわゆる純粋な海外ブランドの輸入車の新規登録台数は前年を下回っており、輸入車市場では混迷が続いている。

中国四国地区の輸入車新規登録台数も総台数では概ね好調に推移している。日本自動車輸入組合(JAIA、ゲルティンガー剛理社長)が発表する輸入車新規登録台数によると、2026年1～7月の中国四国地区の輸入車新規登録台数は、前年同期比16・4%増の1万7384台となった。

円安が消費者を離れを加速か

外国メーカー車の新規登録が伸び悩む要因として、円安を背景にした車両販売価格の高騰が指摘されている。電気自動車(EV)やハイブリッド車(HV)などの電動化で、ガソリンやディーゼルといったエンジン車から価格が上昇しているだけに、円安による価格の引き上げは消費者離れを加速させているとの見立てだ。

自動車は、事故や故障などで乗り替えないければならない事情を抱えているユーザーを除けば、多くは直近に乗り替えることで不具合が起ることはない。乗り替える時期を後送りすることが

でき、販売会社でも車検の入庫台数は増えているようだ。

販売を挽回するために「装備を簡素化するなどして販売価格を抑えた商品が必要」という期待の声も聞かれる。日本の輸入車市場に後発で参入した中国・比亞迪汽車(BYD)が、8月に軽自動車カテゴリで発売したEV「ラッコ」は、日本市場で3割強の構成比がある軽自動車に着目

し、軽自動車の人気車種を研究して開発した。販売価格も補助金込みで200万円を下回るよう戦略的に設定し、日本の軽自動車市場での一定のシェア獲得に「本気度」を示している。

「走行距離が少ない中古車は人気が高い」との声もあるように、販売価格が下れば車を購入したいと考えるユーザーは少なくない。為替による販売現場の逆風は、販売会社だけでは対策を打ちようがなく、ブランドディンクによる顧客の困り込

みとあわせ、商品面で消費者の購買意欲を刺激する戦略も求められている。

販売会社にとって反転攻勢をかけるきっかけとなるのは新型車の投入だ。メルセデス・ベンツ日本は、6月に上級セダン「Sクラス」を大幅改良して発売したほか、全面改良した新型「CLA」を7月に発売するなど、26年度に車種以上の商品投入を予定している。ビー・エム・ダブリユー(BMWジャパン)は、7月にEVの新型SUV「iX3」を発売したほか、一部装備を見直して、従来のエントリーグレードに対して約7%安い価格に設定した新たなエントリーグレード

「オアシス」を、8月に「2シリーズ」と「X2」に設定して発売。年内には大幅改良した新型「アシリス」も投入するなど、車種構成を強化している。

ボルボ・カー・ジャパンも「SUV「EX90」とクロスオーバー車「ES90」の2車種の新型車を7月に発売した。いずれもEVでラインアップの頂点となるフラッグシップにEVを据え、「EX60」の発売も予告するなど、EVのラインアップ拡充を進めている。

新型車アピールより重要に

新型車の効果を最大限に生かすため、顧客からの認知を高める取り組みが求められる。岡山県では、岡山県輸入自動車販売店協会(村上均会長)が2年に1回、会員ディーラーが最新モデルを持ち寄りて展示する「岡山輸入車ショウ」を開催し、毎年2回(輸入車ショウ開催年は1回)、中古車大商談会を開催している。26年は輸入車ショウの開催はないが、10月に恒例の「岡山輸入中古車大商談会」をコンベン

クス岡山(岡山市北区)で開催し、同協会の会員ディーラーが認定中古車を一堂に展示し販売する。

中古車市場の活性化は新車の下取り相場に影響する。EVの出品も増えてきており、今秋の催しの状況が注目される。

中国・四国地区 2026年1～7月の輸入車新規登録台数(総台数)				
	乗用車		乗用車・貨物・バス合計	
	台数	前年比	台数	前年比
鳥取	933	128.3	1,013	136.5
島根	846	101.0	925	107.3
岡山	3,101	107.2	3,351	112.7
広島	4,199	111.0	4,599	119.8
山口	1,722	99.2	1,929	109.4
中国地区合計	10,801	108.3	11,817	116.1
徳島	1,103	107.4	1,202	115.4
香川	1,579	109.8	1,753	119.7
愛媛	1,511	100.5	1,674	108.8
高知	846	122.6	938	132.7
四国地区合計	5,039	108.2	5,567	117.2
中国・四国合計	15,840	108.2	17,384	116.4

※単位:台、%

中国・四国地区 2026年1～7月の輸入車新規登録台数(外国メーカー車)				
	乗用車		乗用車・貨物・バス合計	
	台数	前年比	台数	前年比
鳥取	336	95.5	338	95.8
島根	352	96.2	355	97.0
岡山	1,646	93.1	1,683	92.9
広島	2,414	93.3	2,428	93.5
山口	857	89.3	866	89.5
中国地区合計	5,605	92.9	5,670	93.0
徳島	539	83.7	543	84.1
香川	784	92.2	794	92.5
愛媛	768	84.5	801	86.5
高知	320	100.0	324	99.4
四国地区合計	2,411	88.5	2,462	89.3
中国・四国合計	8,016	91.6	8,132	91.9

※単位:台、%



今年2月に開催した岡山輸入中古車大商談会

クルマはつukらない。
クルマのある人生をつくっている。

YANASE

ご購入後は全国200拠点以上のオールヤナセネットワークが、あなたの一台をサポートします。

ヤナセの全国ネットワークの中古車を検索できます。**ヤナセ認定中古車検索サイト** <https://yanase.jp>カタログのご請求はホームページ www.yanase.co.jpへ。

ヤナセネットワーク

広島県 メルセデス・ベンツ広島祇園 ヤナセ 広島支店
〒731-0113 広島市安佐南区西原 6-19-17 Tel.082-874-2314

メルセデス・ベンツ広島井口 ヤナセ 井口支店
〒733-0842 広島市西区井口 5-2-42 Tel.082-277-6811

メルセデス・ベンツ福山 ヤナセ 福山支店
〒720-0835 福山市佐波町 231-1 Tel.084-952-1111

山口県 メルセデス・ベンツ山口 ヤナセ 山口支店
〒753-0871 山口市朝田 1604-1 Tel.083-922-5566

メルセデス・ベンツ周南 ヤナセ 周南支店
〒745-0809 周南市久米中央5丁目 4-16 Tel.0834-39-6888

鳥取県 メルセデス・ベンツ米子 ヤナセ 米子支店
〒683-0037 米子市昭和町 88-1 Tel.0859-23-0982

メルセデス・ベンツ米子 鳥取サティファイドカーセンター
ヤナセ 米子支店 鳥取営業所
〒680-0931 鳥取市岩吉 175-4 Tel.0857-28-5611

香川県 メルセデス・ベンツ高松 ヤナセ 高松支店
〒761-8056 高松市上天神町 199-1 Tel.087-867-1171

徳島県 メルセデス・ベンツ徳島 ヤナセ 徳島支店
〒770-0939 徳島市かちどき橋 2-5 Tel.088-656-1171

高知県 メルセデス・ベンツ高知 ヤナセ 高知支店
〒781-8122 高知市高須新町 1-1-39 Tel.088-884-1173

クルマはつukらない。クルマのある人生をつくっている。 **YANASE**

従来の概念捨て 頼られる店に

バルコムモータース

南 昌吾社長



これまで頑なに実践してきた営業手法、ディーラー経営に関わる発想を捨てなければ成長の道筋をたどれない局面に置かれている。今すぐ数年後を見据えた変革を具体的に進める必要性を日々感じている。消費者の構造的な縮小が大きな流れになっているのに加え、「信頼できる担当営業スタッフ」に世話を焼いて欲しい」と、希望するユーザー自体が少数派になっ

いるように、お客さまの指向そのものが変化していることも1つの要因だ。だからこそ「店でお客さまを守る」という意識へと改め、頼っていただけの店づくりを進めていかなければならない。内製によるコールセンターを社長直轄下に設置したのもこうした危機感から生じたもの。多様な切り口でアプローチすることで、取りこぼしていた細かな顧客情報、お客さま一人ひとりがカーライフに對し求めているものが見えてきた。親身になってニーズを聞いてくれるコールセンタースタッフに對するお客さまからの高評価は、褒めていただいたスタッフのモチベーションアップとなり好循環となっている。前段として、会社が目指す将来像を示す全社員参加の会議「コンパス（羅針盤）」を開催し、しっかりと理解させていることが良い結果につながっている。全店舗に営業スタッフをサポートするカスタマーサポートスタッフを配置したのも、全スタッフがお客さまに向き合う姿勢を醸成して一体感を生み出している。

シュテルン丸亀

坂下 議紀店長



当社の2026年新車販売台数は5月まで前年同月比横ばいで推移したが、新型車の投入がない、他銘柄の新型車投入が、日本メーカーの海外生産車の販売好調などを要因に前年実績を下回っている。しかし、下期以降は「CLA」の電気自動車（EV）の投入をはじめ「Sクラス」のマイナーチェンジや「GLB」のフルモデルチェンジが控え、追い上げに期

待できる。今後は来店客に新型車に試乗して体感してもらうことで、EVならではの走行性能や快適性の理解を促進するなど受注獲得につなげたい。車両価格は上昇傾向にあるものの、他銘柄の新型車投入や新規出店などもあり、EVの認知度は高まっており、将来的な需要増加を見込んでいる。また、毎年1月に開催する「香川輸入車ショー」などで新型車を展示することで、性能や特徴の認知度向上に努めている。中古車の販売動向を見

ると、直近3カ月間は好調に推移している。ホームページ上の検索サイトの更新に加え、近隣の地域に絞ったネット広告の掲載で中古車の豊富な品揃えを強く訴えている。また、下取りなどにも取り組んで、良質車の仕入れを図っている。中古EVの人気も高く、割安な価格設定や認定中古車の半年間の無料充電などが高い支持を受けている。

今後はさらに残価設定型クレジットへの加入提案に注力する。近年は残クレ加入率が上昇傾向にあり、年平均で50〜60%に上っている。残クレの提案を通じて顧客との接点機会も増え、関係を強化することもできる。

新型車の試乗会で需要創出

CLAの商品力 発信に力

ヤナセ 中四国本部 執行役員 中四国営業本部長

園田 邦貴氏



待望のCLAがラインアップされ、GLC、GLBを加えた強力布陣を追い風として販売を一層盛り上げていかなければならない。CLAについては、Cセグメントのカテゴリにおいてダントツのポテンシャルであることは間違いない。エントリーユーザーをはじめとして、まずはその商品力を知ってもらうことに努めたい。

年度前半は、先行き不透明な経済環境の影響を受けるお客さまに對し、「重要業績評価指標（KPI）」を日常的に意識していく。特にCS評価については、現状に決して満足することなく、より一層のアンとして固定化できるよう尽くしていきたい。

目指していくよう全社員に求めている。店舗それぞれの総合力を引き上げも推進し、店舗が最大限のパフォーマンスを発揮できるようサポートしていく。現場を知り、最良の判断を即時に下す立場にある拠点長のマネジメント力の引き上げをポイントとした。また、デジタルマーケティング、SNSの活用も積極的に進めていきたい。イン스타그램などを使った情報発信については、全社での一斉配信とともに店舗独自のものも身近に感じてもらえるので推奨している。

山陽村上モーター

村上 貴久社長



2026年の岡山県の輸入車市場は、日本メーカーの海外生産車を含めた総台数では、全国市場同様に前年超えが続いているが、外国メーカーによる純輸入車の台数は、前年台数に届いていない。県の経済情勢も円安や中東情勢の影響などによる物価高で、自動車関連も車両だけでなく部品の価格でも値上げが進むなど厳しい環境にある。こうした環境下で当社の26年の販売台数は、中古車が前年台数を1割程

いマイルドハイブリッド車の小型SUV「XC40」で、根強い人気を保っている。ボルボでは昨年4月から、ディーラーが電気自動車（EV）の販売を行うようになり、当社でも営業スタッフのEV販売に対する意識が変化している。これまでも小型EVの「EX30」が注目を浴びており問い合わせは多かつたが、今年は中東情勢による原油価格の不透明感が奏功し、戸建て住宅のお客さまを中心に

関心が高まり、EVの販売台数が伸びている。今夏にはEVの新型車として、SUV「EX90」とクロスオーバー車「ES90」を発売し、ボルボのフラッグシップにEVが据えられた。今後、「EX60」の日本への投入も予定されており、EVのラインアップが拡充する。

代替する際のリセラーバリエーションなど、EVの販売はまだ難しい面もあるが、EVやプラグインハイブリッドといった電動車へのシフトは今後も続く。当社は今年、創業65周年を迎えた。今後もお客さまに安心と安全を提供していくためにも、お客さまのEVに関する懸念を払しょくできるよう、EVに精通した人材を育成し、拡販していきたい。

EVの懸念払しょくし 拡販へ

VOLVO

EX30 Plus Single Motor Extended Range



ボルボ・カー 岡山

〒700-0971
岡山県岡山市北区野田5-18-7
TEL : 086-241-8101

営業時間 / 10:00~19:00(サービスは18:00まで)
定休 / 毎週水曜日、第1・2・3火曜日

ボルボ・カー 倉敷

〒710-0835
岡山県倉敷市四十瀬237-1
TEL : 086-427-8101

営業時間 / 10:00~19:00(サービスは18:00まで)
定休 / 毎週水曜日、第1・2・3火曜日

ボルボ・カー 福山

〒721-0966
広島県福山市手城町4-8-14
TEL : 084-928-8101

営業時間 / 10:00~19:00(サービスは18:00まで)
定休 / 毎週水曜日、第1・2・3火曜日



「欧州Car of the Year 2026」を受賞した
新型CLA、遂に日本上陸。



The all-new CLA

Mercedes-Benz

メルセデス・ベンツ正規販売店
メルセデス・ベンツ丸亀 株式会社シュテルン丸亀
〒769-0213 綾歌郡宇多津町東分294-1 ☎0877-41-9335



Balcom Motors
SINCE 1967